

爆たり 四中 学校 みがきあつ

18限目

1月
23日
金



それぞれが 咲かせる花

前回の通信で、逆転劇の文面をのせておりましたが、感銘を
うけてくれた方がいてうれしく思います。返信の中にすごいなあと感じたもの
がありましたので紹介しますね。

右下の文に目が留まり、何でこんなネガティブな事を載せるんだろうとの疑問からプリントに入りました。ちょうど水泳の大会があっており、その大会で九州の大会出場が決まる大事な日でした。しかし、飛び込み時ゴーグルに水が入り途中で止まってしまい、チャンスを逃してしまいました。淡いながら期待をしていた分、ショックが大きく、感情の行き場がない時に目に留まった文章でした。先生はポジティブやアクティブの大切さを書きながら何でこんな文を載せたのか、解決しないまま最後まで読み、やっと謎が解けました！

早速子供を呼んで、「失敗したあなたに」と読ませてみました。

子供も右下の文だけ読んでいて、ネガティブな文のまま読むのを終えていたので、読み終えた後は、何かスッキリしたような、後押しされたような気になりました。

翌日も大会を控えておりましたが今日の失敗を超えられる気がしない、後がなくなった『まさに土俵際』に立たされた私達に『大逆転は起こりうる』、とっても勇気づけられました！

「このタイミングでこの文に巡り会えたのは、九州に行けて事じゃない？」と落ち込んでた心に光が灯りました！

翌日、信号は青続き、昨日の言葉、「今日は運がいい」、そう言って送り出しました！

見事、数々の選手を総抜きして決勝進出、九州どころか、西日本大会のタイムを切ってきてくれました！

我が子だけが切れてなかった九州タイム！みんながまだ、切っていない西日本タイム！

その2つを同時にクリア、まさに大逆転でした！

この言葉と巡り合わせてくださった先生に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

彼女は、水泳で頑張っているのですが、この結果を出すために、これまで相当な努力を重ねてきたのだと思います。私もそのような世界に足をふみ入れていたので、その苦しさやつらさがよくわかります。改めて考えると、四中の生徒たちは、それぞれの分野で頑張っている生徒が多い気がします。サッカーや水泳で、あ、たり、ソフトボール、太鼓などなど、...大会などに出なくても、美術部で絵馬を奉納したり、絵画や書道、俳句に作文といったコンクールで入賞している生徒もいます。学校に関わるだけでなく、地域の伝統行事である風流の指導をしている生徒もいます。以前、「世界に一つだけの花」という歌がはやりましたが、本当にそれぞれが個々の美しさを持った花を育て

ていると思います。そんな中、「自分にはこれといった特技もないし...」という人もいるでしょう。別に特技というのとは、扱ってきた技能ばかりではありませんよ。人にやさしくできるといことも大きな特技です。先日、小学生と一緒に登校してきた女子生徒がいました。

その生徒が中学の校門をくぐると、小学生が「〇ちゃん、またね!」と笑顔で手を振っていました。き、と、面倒見がいい、やさしい先輩なんだろうね。だから、中学生になった今でも、下級生から慕われているのでしょね。こういった人柄も、美しい花(特技)なんですよ!他にも、誰とでも、気軽に関わったり、声かけをして接したりすること、できる力というのも特技です。先日、私が髪を切ってきたら、すれ違う時に、

「校長先生、髪切りました?」と、多くの生徒が話しかけてくれました。校長なんて、集会の時に、ちょろ、と話をする先生、みたいな感じでしょか? そんな私に対しても、かまて声をかけてくれる優しさも、美しい花です。人見知りで、コミュニケーションをとるのが苦手な私にとって、声をかけてくれるというだけでとてもうれしいし、ありがたいことなんです。おそらく、私のような人には、その気持ちがあがると思います。コミュニケーションが苦手な人にとっては、そうやって人に関わられる力というのにはあこがれるものなんです。だから、大切に育ててほしいです。き、とそれぞれの人に何らかの力がある

と思います。大人になるまでに、

その特徴を見つけ出して、自分

の花を咲かせてください!!

明けましておめでとうございます。

今回も、拝見させて頂き、まさに「積極的」という言葉に、それは親から我が子に対しての願いでもあります。何事にも「動く」「踏み出す」事が経験にも繋がり社会への一歩でもあると思うので、子供達にもそういう願いが届けば良いなあと思っています。

返信ありがとうございます!!

私たちも「動く」きっかけ。

「踏み出す」タイミングをつかめる助けがてきめばと思います。

私も読んでみようとネットで注文していただきました。

心から挑戦することをお勧めしたいと思っています。

返信にお返事します。



大逆転か!! 絶対絶命か!

読んだ直後に、これは人気だった「54字の物語」の本と同じ面白さ、何度も読み返したくなる意味を考えたくなる文章だと思いました。

上に向かって歩くのか、下を見て落ちていくのか。それは、自分が進みたい道を選ぶチャンスがあるという事実。

『する後悔』を選ばなければ大逆転も、生まれない。今の我が子ならば、勝ち上がれない自分は、なぜなのかを感じ取ることが出来るかもしれないと思いました。